

お知らせ

0次予防健康づくり スタートシンポジウム

長浜市と京都大学大学院医学研究科は、健康づくりと予防医学の発展をめざし相互に協力していくため、10年間の「0次予防健康づくり推進事業の共同実施に関する協定」を締結します。

調印後、この事業がめざすところや今年実施するパイロット事業についての説明とシンポジウムを開催します。

ー0次予防ってなあに？ー

体質と生活習慣の関係を解明することで、より効果的に病気を予防することをいいます。

【と き】 5月12日(土)

【ところ】 北ビワコホテルグラツィエ2階
午後4時～6時

【内容】 ①長浜市と京都大学大学院医学研究科との公開調印式
②記念シンポジウム

【定員】 200人

【参加料】 無料

【申込方法】 市健康推進課(☎7779)まで電話でお申込みください。

「ジーバーぽこぽこ」 参加者募集

市内の小中学校で、子どもたちに絵本の読み聞かせを行うボランティアグループ「ジーバーぽこぽこ」の参加者を募集します。シニアの仲間や子どもたちと楽しく「頭とからだの健康づくり」をしませんか。

【対象】 市内にお住まいの60歳以上の方で、自分の健康づくりのためにボランティアを行う意欲のある人。
会場(小中学校)まで自分で行ける人。

【活動回数】 1週間に1～2回程度

【定員】 30人(先着順)

【募集期間】 5月15日(火)～6月15日(金)

【申込方法】 市健康推進課(☎7779)まで電話でお申込みください。

※参加申込者には、7月から行うセミナー(全8回)に参加いただき、秋頃からの活動を予定しています。

「親子」・「ペア」で よい歯のコンクール

【と き】 6月10日(日) 午前9時～正午

【ところ】 長浜文化芸術会館

【対象】 共通

長浜市民で平成18年度に3歳児検診を受診され歯並びがよくむし歯のないお子さん

+

①親子でよい歯 ②ペアでよい歯

治療した歯が10本以下の保護者

歯が生えそろった4歳以上の人(兄、姉、祖父母、友達など)

【定員】 「親子のよい歯のコンクール」20組
「ペアでよい歯のコンクール」15組
※いずれも先着順

【内容】 歯科医による審査により、各コンクールの優秀者を選出し、市長表彰します。

【募集期間】 5月15日(火)～31日(木)

【申込方法】 どちらか1つのコンクールを選び、市健康推進課(☎7779)まで電話でお申込みください。



ながはま禁煙コンテスト 参加者募集

たばこ生活にサヨナラするチャンス!?

【対象】 長浜市民および市内に勤務している人

【定員】 30人(先着順)

【参加料】 500円

【募集期間】 5月15日(火)～31日(木)

【申込方法】 市健康推進課に備え付けてある申込用紙に必要な事項を記入のうえ、参加料を添えてお申込みください。



頭・腹部血管造影撮影装置を導入 ～高度な検査・治療がより安全に～

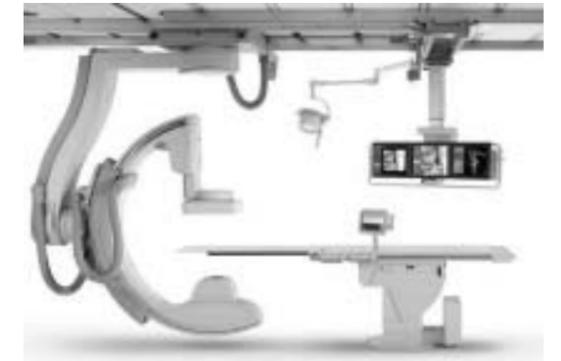
市立長浜病院では、脳血管や内臓疾患などの診断や治療をより安全かつ正確におこなうことができる頭部・腹部血管造影撮影装置を3月に更新しました。

特徴は？

従来の2D(平面)画像だけでなく、X線検出器部分を回転させることで3D(立体)画像を構築することができます。その3D(立体)画像はあらゆる角度から観察することが可能です。また、高性能な画像処理により、すべての画像において高画質な血管像を抽出することができますようになります。

■いままでの2D(平面)画像

■3D(立体)画像



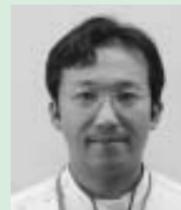
導入による効果は？

- ①血管の形状の大きさ、位置関係を正確に把握することが可能となり、診断や治療の精度が高くなります。
- ②複雑な血管内にカテーテル※1を進めていく際にも、より安全に正確におこなうことができます。
- ③CT※2と同じ様な画像を得ることもでき、血管内手術においてもより安全に正確におこなうことができます。
- ④時間のかかる血管内治療においては、低線量の透視モードにすることで患者様の被ばくの負担も軽減できます。また、従来の機器と比較すると治療時間の短縮も図れます。

用語解説

- ※1：カテーテル
体内に挿入して診断または治療をする細長い管のこと
- ※2：CT(コンピュータ断層撮影)
人体にいろいろな角度からX線をあて、輪切り状に3次元的に映像化するコンピュータを用いた装置

検査では異常がない？



市立長浜病院総合診療科
横 浜 洋 先生

精密検査をして異常がないと言われたが具合が悪い。薬を飲んでいるがすっきりしない。体のあちこちが悪く、いろいろな科からたくさん薬を処方されているが、よくなる。どこの科にかかったらよいかわからない。授乳中に病

気になる、副作用の少ない薬がほしい。風邪をひきやすい、もうすこし、体を丈夫にしたい。ワクチンをうってほしい。

総合内科にはさまざまな方が来られます。生活習慣を見直したり、今飲まれている薬を調節したり、漢方薬を組み合わせたりすることで改善することが多いです。

診察するうえで大切なことは、今、どんな薬を飲まれているかです。必ず、薬の説明書か薬を持って受診してください。

5月は仕事の疲れが出やすい月です。なかなか疲れがとれないときは貧血や甲状腺の病気であることがあります。2時間くらいで血液検査ができますのでお気軽にお越しください。